

防災を考える。

Vol.9

東日本大震災から4年が経過した今、あらためて防災について考えてみましょう。

地震に備えるNo.2

いざという時のために、けがや火災など二次災害防止のためにも、この10項目を日頃から心掛け、安全対策を身に付けて地震に備えましょう。

◆地震対策の10項目

1 まず身の安全を

けがをしたら火の始末や避難が遅れてしまう。家具の転倒や落下物には十分な対策を。



2 素早く火の始末

揺れを感じたら素早く火の始末。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。



3 戸を開けて

出口の確保
震動により、ドアが歪んだり開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。



4 火が出たらすぐ消火

万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫。慌てず消火を。



5 慌てて

外に飛び出さない
飛び出しはけがのもと。冷静な判断を。



6 狭い路地やブロック塀

には近づかない
ブロック塀や自動販売機は倒壊の恐れが。素早く避難を。



7 山崩れ、がけ崩れ

に注意
居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。



8 避難は徒歩で

車での避難は危険な上、交通渋滞を招き緊急出動の障害になるこ

とも。ルールを守り安全に避難を。

9 協力し合って

応急救護
地域ぐるみで協力し合って応急救護の体制を。



10 正しい情報を聞く

事実は一つ。間違った情報に惑わされず的確な行動を。

